

# 学級活動

群馬県教育委員会事務局

義務教育課 生徒指導係



# 本日の内容

- 1 令和5年度学校教育の指針  
～学級活動で活動を深める授業改善のポイント～
- 2 なぜ授業改善のポイントが、「合意形成」、「意思決定」であるのか
- 3 授業改善のポイントを具現化するために  
～本日の2つの授業を基に～

## 本日のまとめ

- 合意形成までのプロセスを子どもが身に付ける
- 教師の支援を事前に行い、計画委員が主体的に話し合いを進める

# 1 令和5年度 学校教育の指針（学級活動）について

## 各教科等で**活動を深める**授業改善のポイント

話し合いのルールを踏まえ、意見の違いや多様性を認め合い、一個人として折り合いをつけて「合意形成」を図ったり、自分に適しているかを客観的に見つめ直し、一人一人が「意思決定」したりする活動を設定しましょう。

# 1 令和5年度 学校教育の指針（学級活動）について

## 各教科等で**活動を深める**授業改善のポイント

話し合いのルールを踏まえ、意見の違いや多様性を認め合い、一個人として折り合いをつけて「合意形成」を図ったり、自

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

一人一人が「意思決定」したうえで活動を設定しましょう。

# 1 令和5年度 学校教育の指針（学級活動）について

## 各教科等で活動を深める授業改善のポイント

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

いをつけて「合意形成」を図ったり、自分に適しているかを客観的に見つめ直し、一人一人が「意思決定」したりする活動を設定しましょう。

# 本日の授業では・・・

## (1) 学級や学校における生活づくりへの参画

古巻小学校

**学級の課題** 関わる友達が固定化したり、異性に対して自ら関わりをもてなかったりする児童がいる。

議題「5年〇組クラスオリンピックをしよう」



話し合う

決める

実践する

自治的能力、自己指導能力、自己実現につながる力

古巻中学校

**学級の課題** 学校のために行動するという意識が十分でない。

議題「3年生に向けて3学期の過ごし方を考えよう」



## 2 なぜこのポイントなのか

### 1 令和5年度 学校教育の指針（学級活動）について

#### 各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

話し合いのルールを踏まえ、意見の違いや多様性を認め合い、一個人として折り合いをつけて「合意形成」を図ったり、自分に適しているかを客観的に見つめ直し、一人一人が「意思決定」したりする活動を設定しましょう。

#### その1

学級活動の特質である「課題を見いだし解決に向けて取り組む実践的な学習」の中心は話し合い、決める活動（合意形成、意思決定）である。

#### その2

学級活動（1）では、一部の児童生徒の意見や多数決で学級としての意見が決まってしまうがちである。

#### その3

学級活動（2）（3）では、個人の意思決定に話し合いの内容が活かされず、自分に合わない解決方法を決めてしまうことも多い。

#### その4

話し合い活動を充実させることが、決めたことを実践しようとする意欲の向上につながる。

## 2 なぜこのポイントなのか

### 学級活動の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

## 2 なぜこのポイントなのか

身に付けさせたい資質・能力

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

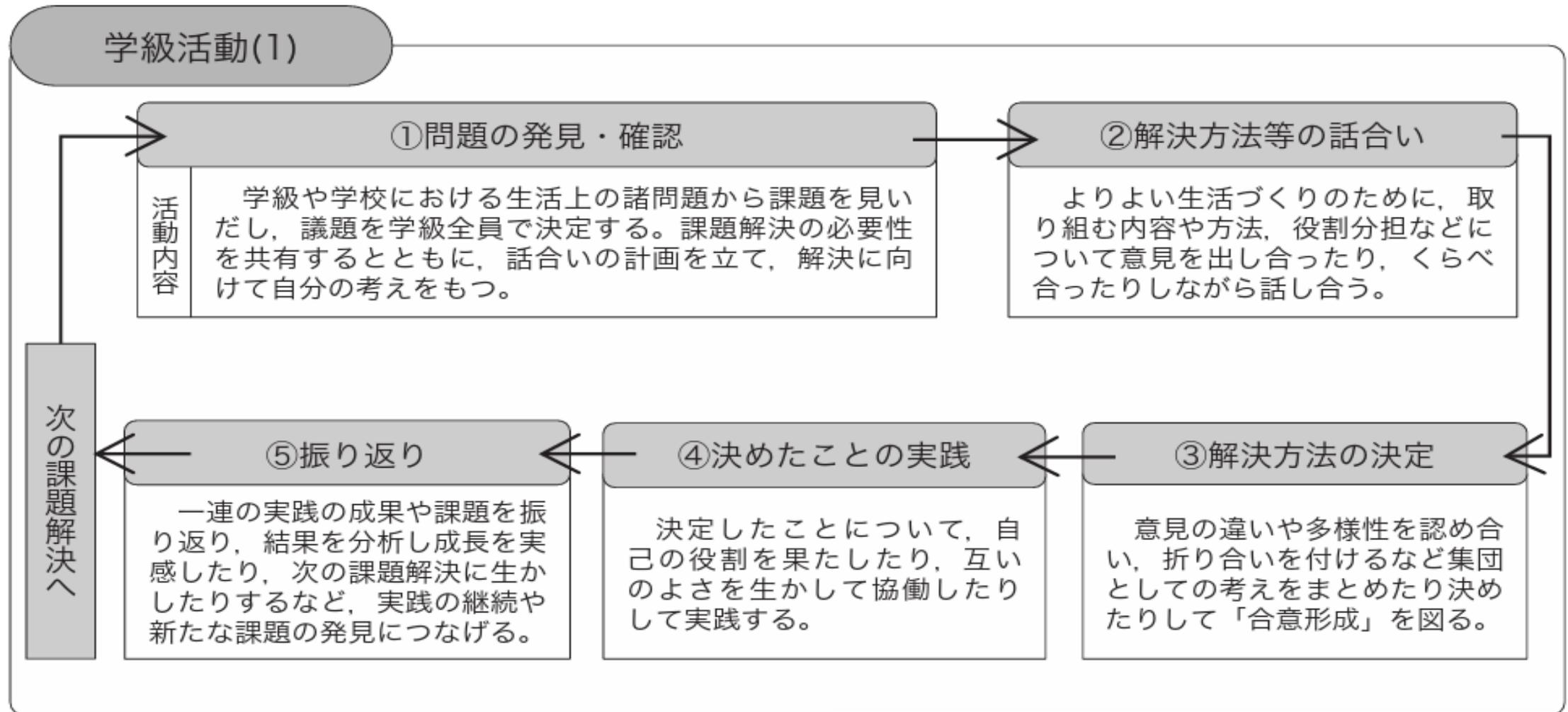
思考力、判断力、表現力等

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己(人間として)の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

## 2 なぜこのポイントなのか

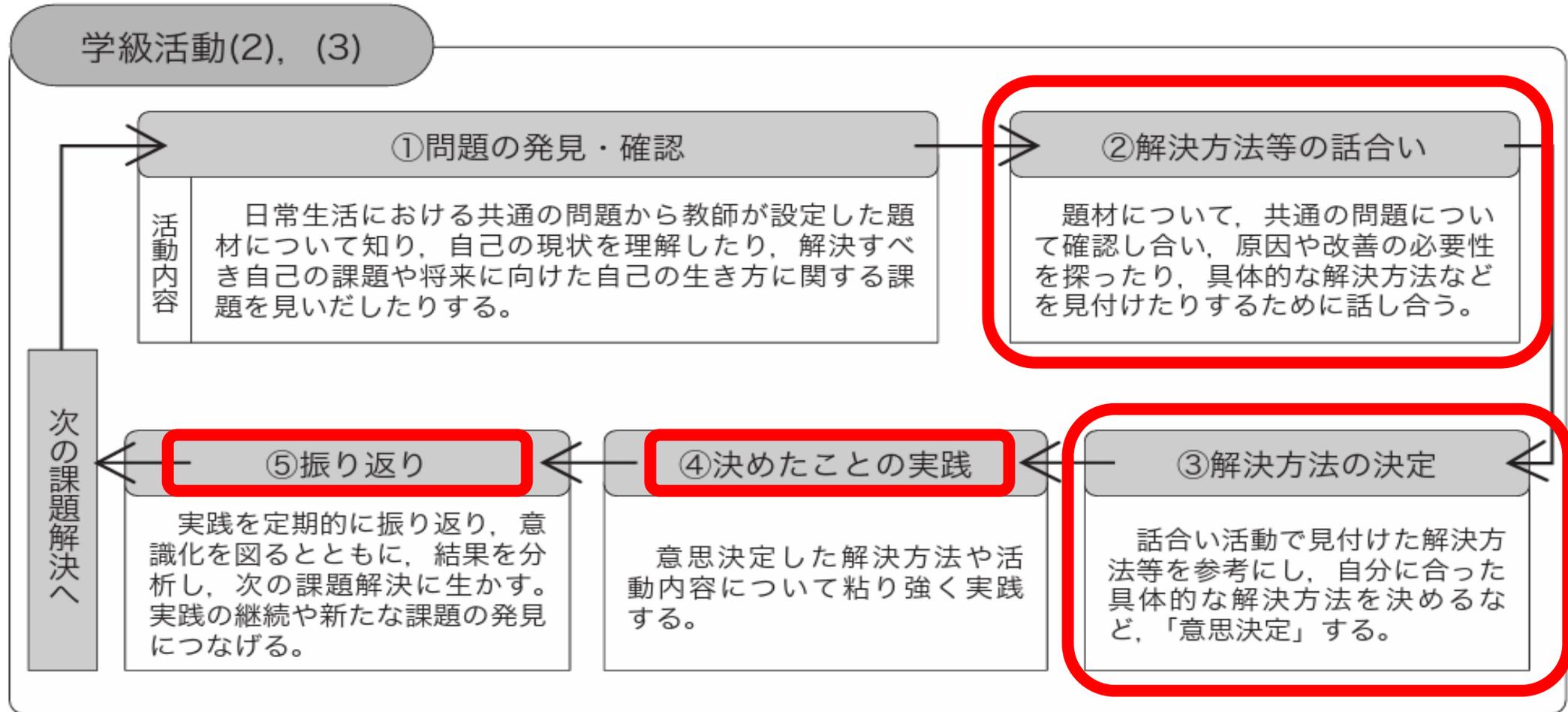
学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程（例）



出典：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 学級活動編

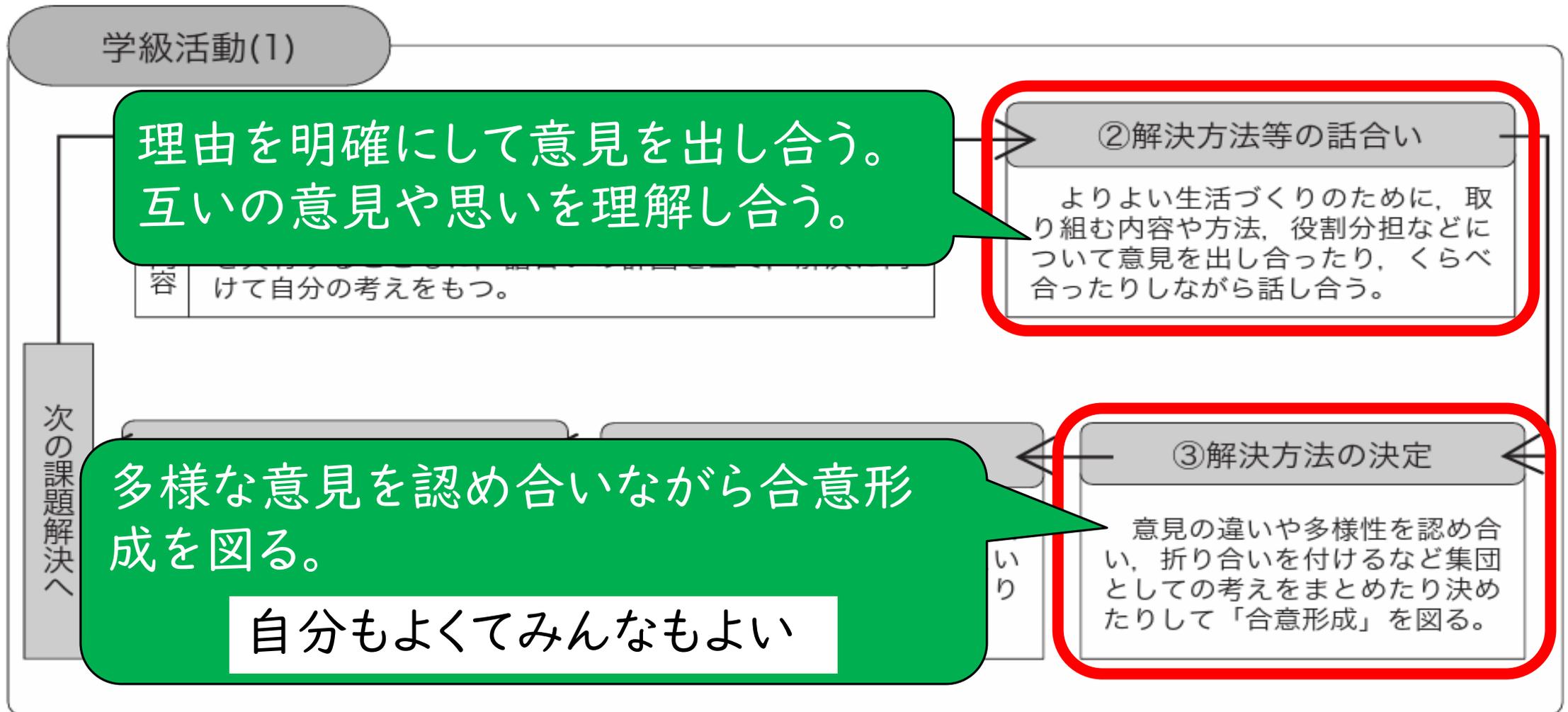
## 2 なぜこのポイントなのか

学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、  
学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習過程（例）



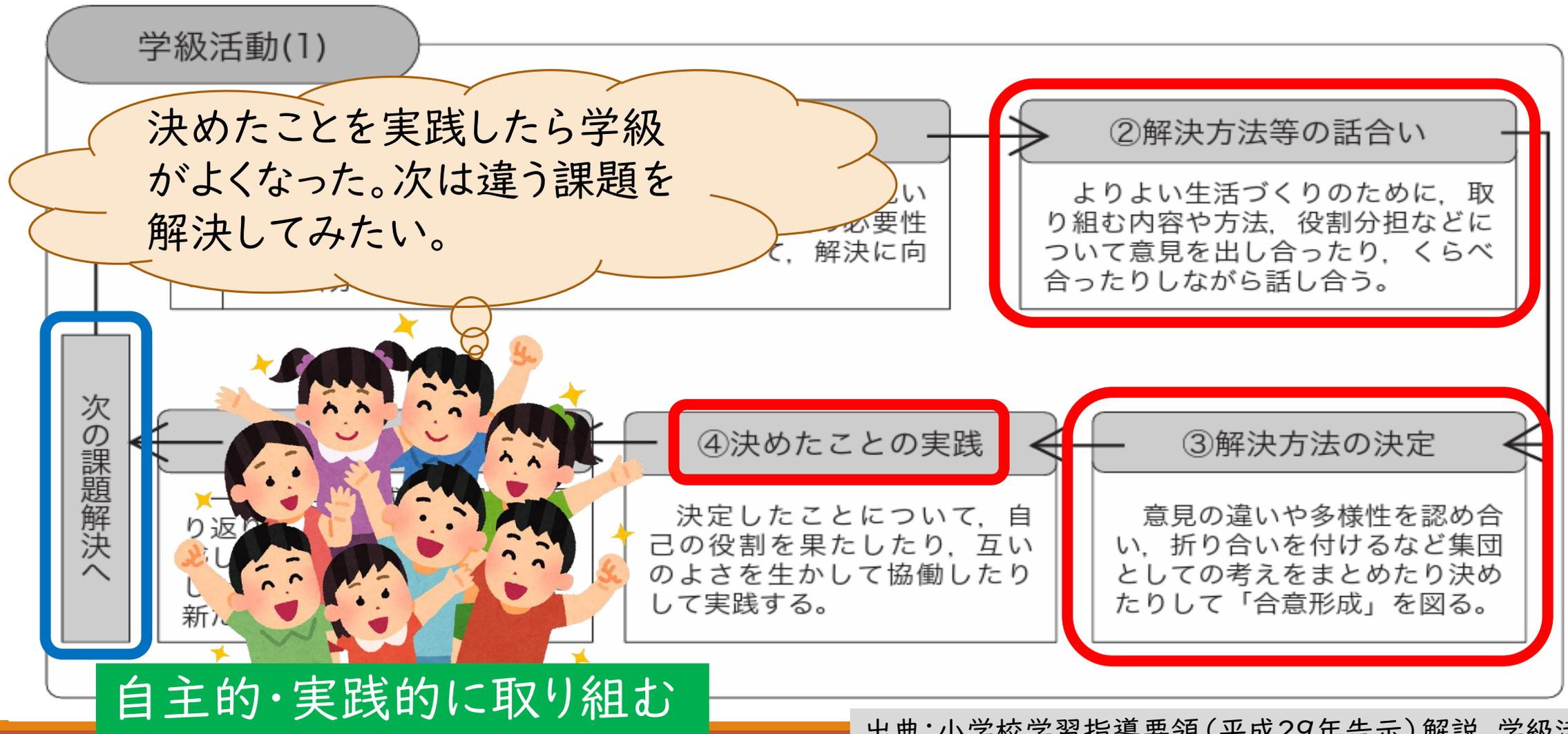
# 2 なぜこのポイントなのか

学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程（例）



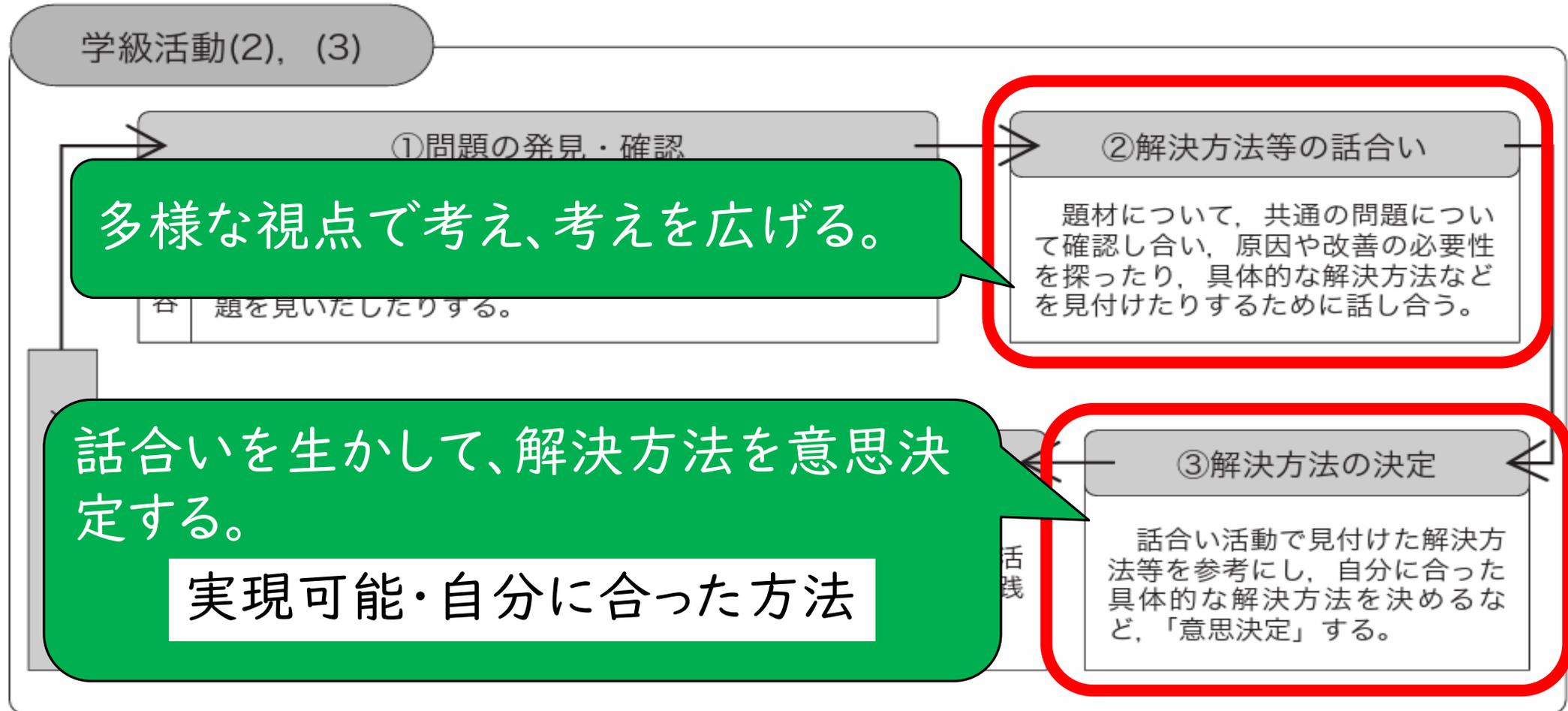
## 2 なぜこのポイントなのか

学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程 (例)



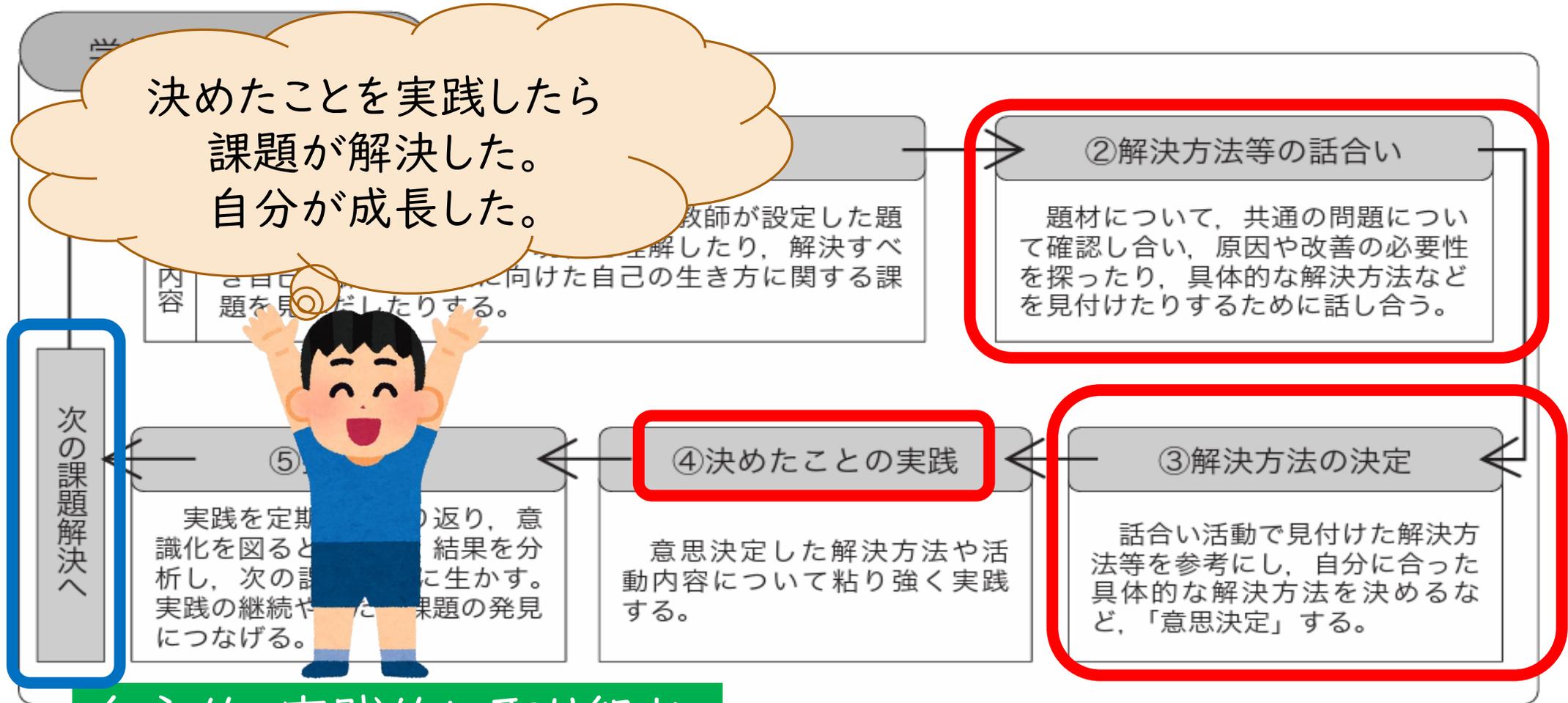
## 2 なぜこのポイントなのか

学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、  
学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習過程（例）



## 2 なぜこのポイントなのか

学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、  
学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習過程（例）



自主的・実践的に取り組む

## 2 なぜこのポイントなのか

学級活動におけるキャリア・パスポートの活用について

特別活動を要として、学校教育全体を通してキャリア教育を適切に行う

### キャリア・パスポート

学期・学年の目標

学期・学年の振り返り

行事の目標

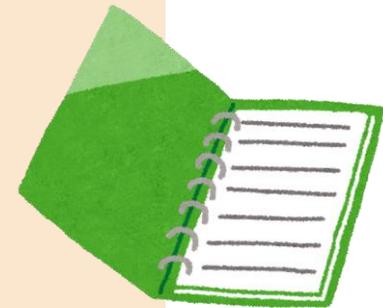
行事の振り返り

職場体験の事前指導

職場体験の事後指導

進路学習

蓄積した物をどう活用するか



## 2 なぜこのポイントなのか

### 学級活動におけるキャリア・パスポートの活用について

#### 【児童生徒】授業の中で記録を用いて話し合う

扱う題材と関連するキャリア・パスポートを授業の中で見返し、気づきをもとに話し合う。

例) 2学期の目標、行事の振り返りなどを見返し、気付いたことを話し合った上で、2学期の振り返りを書く。



#### 【教師・保護者】対話的に関わる

授業で記入した後、教師や保護者による励まし、コメントの記入等により、意欲付けを行う。

例) 目標の達成に向けて努力していることについて励ます。  
二者面談、三者面談等で一緒に振り返ったり見通しをもったりして、児童生徒の成長を促す。



### 3 授業改善のポイントを具現化するために

本日のまとめ

- 合意形成までのプロセスを子どもが身に付ける
- 教師の支援を事前に行い、計画委員が主体的に話し合いを進める

「話し合いの進め方」について

「事前の活動」の充実について

### 3 授業改善のポイントを具現化するために

本日のまとめ

- 合意形成までのプロセスを子どもが身に付ける
- 教師の支援を事前に行い、計画委員が主体的に話し合いを進める



「話し合いの進め方」について

※他教科等との往還



「事前の活動」の充実について

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## はばプラⅡの基本的な流れ

### 1 つかむ

- 議題、提案理由、「話し合いのめあて」などを学級全体で確認させる。

#### <進め方の例>

- ①はじめの言葉 ②計画委員の紹介 ③議題の確認
- ④提案理由や「話し合いのめあて」の確認

「話し合いのめあて」

### 2 出し合う

- 一人一人の意見を発表し合う場を設定する。
- 発言の苦手な児童生徒が参加しやすい雰囲気をつくる。
- 理由を明確にして発表させる。その際、提案理由や話し合いのめあてに沿って言えるようにする。

### 3 比べ合う

- 出された意見の内容を共有させる。
- それぞれの意見を分類したり、整理したりして、互いの考えの違いや共通点を確かめさせる。

### 4 まとめる(決める)

- 最終的に折り合いを付けるなどして、集団としての「合意形成」を図り、全員の総意としてまとめさせる。
- 話し合いで決定したことを確認させる。
- 話し合いの振り返りをさせる。  
(学級会ノートや、振り返りカードの活用)

【振り返り】

## 育成を目指す資質・能力(1)の例

- 学級や学校の生活上の諸課題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸課題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

はばたく群馬の指導プランⅡの基本的な流れと、資質・能力を照らし合わせてみましょう。

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## はばプラⅡの基本的な流れ

### 1 つかむ

- 議題、提案理由、「話し合いのめあて」などを学級全体で確認させる。

<進め方の例>

- ①はじめの言葉 ②計画委員の紹介 ③議題の確認
- ④提案理由や「話し合いのめあて」の確認

「話し合いのめあて」

### 2 出し合う

- 一人一人の意見を発表し合う場を設定する。
- 発言の苦手な児童生徒が参加しやすい雰囲気をつくる。
- 理由を明確にして発表させる。その際、提案理由や話し合いのめあてに沿って言えるようにする。

### 3 比べ合う

- 出された意見の内容を共有させる。
- それぞれの意見を分類したり、整理したりして、互いの考えの違いや共通点を確かめさせる。

### 4 まとめる(決める)

- 最終的に折り合いを付けるなどして、集団としての「合意形成」を図り、全員の総意としてまとめさせる。
- 話し合いで決定したことを確認させる。
- 話し合いの振り返りをさせる。  
(学級会ノートや、振り返りカードの活用)

【振り返り】

育成を目指す資質・能力(1)の例

- **学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。**



「つかむ」場面では、

- **話し合う目的や実践する目的を共有する。**

自分たちの生活をよりよくするために必要なんだ！

- **話し合いのめあてや提案理由から「話し合いの視点」を明確にする。**

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## はばプラⅡの基本的な流れ

### 1 つかむ

- 議題、提案理由、「話し合いのめあて」などを学級全体で確認させる。

<進め方の例>

- ①はじめの言葉 ②計画委員の紹介 ③議題の確認
- ④提案理由や「話し合いのめあて」の確認

「話し合いのめあて」

### 2 出し合う

- 一人一人の意見を発表し合う場を設定する。
- 発言の苦手な児童生徒が参加しやすい雰囲気をつくる。
- 理由を明確にして発表させる。その際、提案理由や話し合いのめあてに沿って言えるようにする。

### 3 比べ合う

- 出された意見の内容を共有させる。
- それぞれの意見を分類したり、整理したりして、互いの考えの違いや共通点を確認させる。

### 4 まとめる(決める)

- 最終的に折り合いを付けるなどして、集団としての「合意形成」を図り、全員の総意としてまとめさせる。
- 話し合いで決定したことを確認させる。
- 話し合いの振り返りをさせる。  
(学級会ノートや、振り返りカードの活用)

【振り返り】

## 育成を目指す資質・能力(1)の例

○学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、**解決するために話し合い**、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。



「出し合う」「比べ合う」場面では、

○意見に対する個々の理由(思い)を十分に出し合う。

○視点を基に、**理由を比べ合い**、意見をしばっていく。

理由が折り合いをつける際の判断材料になる

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## はばプラⅡの基本的な流れ

### 1 つかむ

- 議題、提案理由、「話し合いのめあて」などを学級全体で確認させる。

<進め方の例>

- ①はじめの言葉 ②計画委員の紹介 ③議題の確認
- ④提案理由や「話し合いのめあて」の確認

「話し合いのめあて」

### 2 出し合う

- 一人一人の意見を発表し合う場を設定する。
- 発言の苦手な児童生徒が参加しやすい雰囲気をつくる。
- 理由を明確にして発表させる。その際、提案理由や話し合いのめあてに沿って言えるようにする。

### 3 比べ合う

- 出された意見の内容を共有させる。
- それぞれの意見を分類したり、整理したりして、互いの考えの違いや共通点を確かめさせる。

### 4 まとめる(決める)

- 最終的に折り合いを付けるなどして、集団としての「合意形成」を図り、全員の総意としてまとめさせる。
- 話し合いで決定したことを確認させる。
- 話し合いの振り返りをさせる。  
(学級会ノートや、振り返りカードの活用)

【振り返り】

## 育成を目指す資質・能力(1)の例

- 学級や学校の生活上の諸課題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、**合意形成の手順や活動の方法を身に付ける**ようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、**多様な意見を生かして合意形成を図り**、協働して実践することができるようにする。

**チェック**

「まとめる」場面では、

- よりよい意見を見だし**まとめる**。
- 意見を比べ合いながら、一人ひとりが**納得してまとめる**。

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## 合意形成の方法

### 新しい考えをつくる

AとBの意見のよいところを生かして、Cという意見にしてはどうですか。  
Cの意見ならみんなの意見が入れられると思います。

### 意見を合わせる

AとBの意見を合わせて、abの意見にしてはどうですか。

### 合わせることで生じる不都合の確認

abの意見にすると、〇〇の心配があると思いますがどうですか。

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## 合意形成の方法

### 優先順位を決める

今回はAの意見にして、Bの意見は次に行うこととしていいですか。

### 条件を付ける

Aの意見に〇〇を付け加えるといいと思います。

内容に無理がないか確認

〇〇を付け加えたときに、実際にできそうですか。

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## 合意形成の方法

共感的に理解し、  
譲る

〇〇さんの考えはよく分かりました。みんなの意見を聞いて、私の意見よりも〇〇さんの意見の方がいいと思います。

少しずつ全部行う

AとBの意見について、時間を短くして両方行うことにしていいですか。

時間や場所に制約があることを確認

全部行う時に、時間や場所はどのように工夫してしていけばいいですか。

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

## 合意形成の方法

### 多数決を行う

多くの意見について、話し合いましたが、決まらないので、今回は多数決で決めてもよいですか。

※安易な多数決で結論を出さないために

○まとめる際に、少数意見も尊重し、生かす工夫はないか考える  
(合わせる、一部を他の意見に付け加える)

# 学級活動(1)における話し合いの進め方

合意形成の方法を子ども達が理解し、判断できるようにする。



子ども達の話合いの様子に合わせて、  
「2つの意見のよいところを合わせることができたね。」  
「今日は1つの意見をさらにパワーアップさせられたね。」等、  
よかったことやできたことを明確にして伝えたり掲示したりして、  
**次回に生かせるようにする。**

※教師が最初から示す必要はない。

### 3 授業改善のポイントを具現化するために

本日のまとめ

- 合意形成までのプロセスを子どもが身に付ける
- 教師の支援を事前に行い、計画委員が主体的に話し合いを進める

「話し合いの進め方」について

「事前の活動」の充実について

# 「事前の活動」の充実

## 再確認

学級活動（１）は、**自治的能力**を育む

自治能力ではない

子どもが、「ただやりたい」  
ことをするのではない

→教師の適切な関わりの下行う経験を積み重ねる

# 「事前の活動」の充実

自治的能力を育むために

適切な議題選定・話し合いの経験を積み重ねる

計画委員が中心

<事前の活動>

- ①問題の発見
- ②議題の選定
- ③議題の決定
- ④計画の作成

②④は  
計画委員会

# 本議題の指導計画では…

## 古巻小学校

過程	日時	主な活動
事前	11/13	・学級目標についてのアンケートを基に、学級の現状について一人一人が評価する。(あ)
	11/16	・計画委員会で議題を選定する。
	11/17	・学級全体で議題を決定する。
	11/20	・アンケート調査の結果を基に、計画委員会で活動計画を作成する。
本時	11/24	・よりよい学級にするためのクラスオリンピックについて話し合い、具体的な内容を決定する。(い)

議題の選定

計画の作成

# 本議題の指導計画では…

## 古巻中学校

過程	日時	主な活動
事前	11/6	・学級目標についてのアンケート調査を基に、自己や学級の目標の達成状況を評価する。(あ)
	11/7	・アンケート結果から、計画委員会で議題を選定する。
	11/9	・学級全体で議題を決定する。(あ) (い)
	11/13	・議題に対して自分なりの案とその理由をまとめる。(い)
本時	11/24	・3年生0学期にクラスで取り組むことについて話し合い、具体的な取組を決定する。(あ) (う)

議題の選定

計画の作成

# 本議題の事前計画では…

## 適切な議題の選定

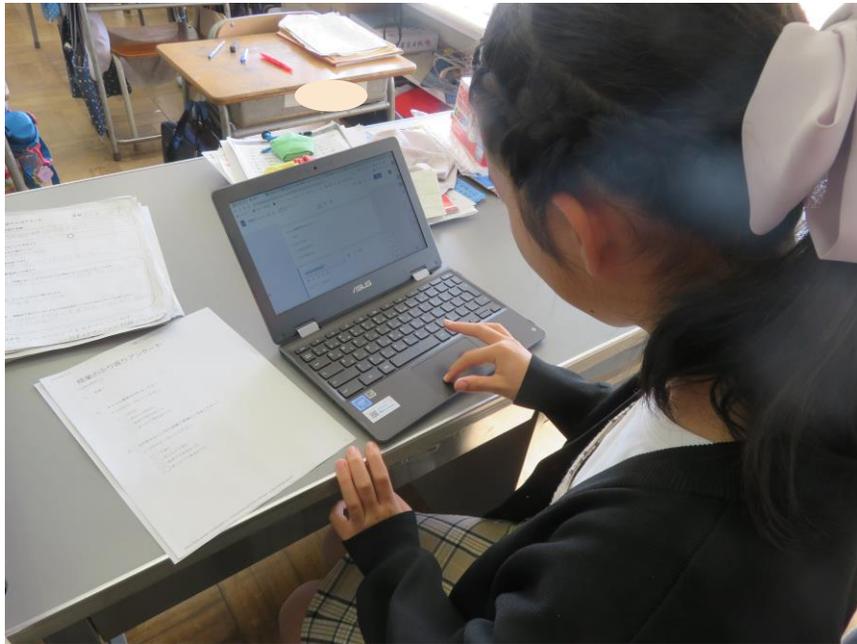
古巻小学校

**学級の課題** 関わる友達が固定化したり、異性に対して自ら関わりをもてなかったりする児童がいる。

古巻中学校

**学級の課題** 学校のために行動するという意識が十分でない。

問題を発見するための計画委員によるアンケート作成と分析



# 「事前の活動」の充実

## 議題の選定方法

### 提案された議題や解決したい問題の発見

- ・みんなでしてみたいこと
- ・みんなで作ってみたいこと
- ・みんなにお願いしたいこと
- ・みんなで解決したいこと
- ・学級（学校）生活がもっとよくなること
- ・以前の活動の課題になったこと

- 議題BOX
- アンケート
- 議題例の掲示
- 教師の声かけ 等

# 「事前の活動」の充実

## 提案された議題や解決したい問題

### 議題を選定するための視点

- 早急な解決が必要
- 学級の全員に関係する
- 学級全員の協力が必要不可欠
- 創意工夫の余地がある
- 学級や学校がよりよくなる

- ※学級会で扱うには適切ではない問題
  - ・プライバシーに関係する
  - ・相手を傷つけるような結果が予想される
  - ・教育課程に関わる
  - ・校内のきまりや、施設等の利用の変更に  
関わる
  - ・金銭の徴収に関わる

## 議題の選定

# 「事前の活動」の充実

## 活動計画の作成

①学級会の役割分担

②提案理由の明確化

③話し合うことの決定

④話し合いのめあての決定

⑤決まっていることの確認

議題選定の視点をもとに理由を明確化する  
「みなさんのアンケート結果から〇〇と  
なっていることが分かりました。今回話し  
合い、△△について決めて、みんなで取り  
組んでいくことで、□□にしていきたいと  
思い提案しました。」

「話し合うこと」の適切な設定

- 「何をするのか」
- 「どのようにするのか」
- 「係分担はどうするか」等

# 「事前の活動」の充実

## 話し合いの流れの確認

司会	司会①
1 初めの言葉	○これから、学級活動を始めます。礼。
2 計画委員会の紹介	○司会は～と～、黒板書記は～、ノート書記は～です。よろしくおねがいします。
3 議題の確認	○今日、話し合う議題は、 <input type="text"/> です。
4 議題提案の理由	○この議題を出した（この議題に決定した）理由を（司会②）から説明してもらいます。お願いします。 <input type="text"/> ※ノート書記や議題提案者が、議題提案の理由を話す。 ○ありがとうございました。 （○今日の話合いについて、先生からお話があります。先生、お願いします。）
5 話し合いのめあて	○今日の話合いのめあては、 <input type="text"/> ○意見を考える時に、忘れてはいけないことは、 <input type="text"/> 視点① <input type="text"/> 視点② ○これらのことを忘れずに話し合ってください。

6 話し合い ( 時 分) ①意見発表	○発表する。 ・意見がある人はいますか。 ※学級全体の課題について発表してもらってもよい。 ★手をあげている人が2、3人になったら、 ・今手をあげている人で最後にします。
( 時 分) ②賛成意見	○出されたこと（視点①、視点②）の中で、よりよいものを見つけていきます。いくつか（視点①、視点②）をくらべながら、忘れてはいけないことに合った理由をつけて、賛成の意見を発表してください。 ・今□□について意見が出たので、□□について賛成の意見を発表してください。
( 時 分) ③まとめる意見	○賛成意見から、クラスで取り組んでいくこと決めます。 ★多くの人からさまざまな理由で賛成意見ばかり出たものには、 ・□□について取り組んでいくことに決めていいですか。
( 時 分) ④決まったこと	★賛成意見が分かれている場合には、 ・賛成意見の少ないものは、今回はなくしてもいいですか。 ・賛成意見が同じくらいの□□と□□について、意見がある人はいますか。 ・□□について取り組んでいくことに決めていいですか。 ○今日の話合いで決まったことを（ <input type="text"/> ）（黒板書記）から発表してもらいます。 <input type="text"/>
7 まとめ	○今日の話合いのまとめをします。先生おねがいします
8 おわりの言葉	○これで、学級活動をおわりにします。礼。

計画委員が進められるよう具体的に助言

# 本日の授業では・・・

## 本時における、教師の直接的な手立て

古巻小学校

○見通しをもって話し合いに参加できるように、事前のアンケート調査結果や提案理由を提示し、クラスオリンピックへの思いを問いかける。

### 【★提示】

○主体的に話し合いに参加できるように、意見カードに事前書いたクラスオリンピックの内容やその理由を確認するよう促す。

○話し合いの視点が「協力」と「たくさんの人」になるように、仲を深めるために必要なことを問いかける。

○提案されたクラスオリンピックの内容を学級全体で共有できるように、計画委員が学習用端末に書き込んだ内容を大型モニタに表示する。

### 【★一覧表示】

○発表することが苦手な児童も自分の考えを伝えられるように、内容のみを発表したり、既に出た内容でも理由が違う場合は、理由のみを発表したりしてもよいことを助言する。

○クラスオリンピックの内容を分類したり、整理したりする様子を全員で共有できるように、話し合いの視점에照らして、モニタ上に表示されている意見を移動させながら、自分の意見を説明するよう促す。

○内容は同じでも、異なる理由があることに気付けるように、意図的指名をし、その理由を問いかける。

○話し合いの視点が「協力」と「たくさんの人」からそれた際は、話し合いを焦点化できるように、提案理由や本時のめあてを確認するよう助言する。

古巻中学校

学年を超えた  
経験の積み重ね

教師の直接的な  
関わりの減少

自治的能力

○3年生としての姿を学級全体で共有した上で具体的な取組案について検討ができるように、3年生のイメージを問いかける。

○視点に沿った話し合いができるように、「リーダーになる」「学級全員でできる」という話し合いの視点を確認するよう促す。

○視点に沿ってグループの取組案を決めることができるように、取組案を決めた理由やさらに考えられるよさを問いかける。

○話し合いが焦点化できるように、個人での取組や学級内での取組などに視点がそれた際は、提案理由や話し合いの視点を確認するよう助言する。

# 3 授業改善のポイントを具現化するために

## 本日のまとめ

- 合意形成までのプロセスを子どもが身に付ける
- 教師の支援を事前に行い、計画委員が主体的に話し合いを進める

### 学級活動(1)における話し合いの進め方

合意形成の手順を子ども達が理解し、判断できるようにする。



○子ども達の話し合いの様子に合わせて、  
「2つの意見のよいところを合わせることができたね。」  
「今日は1つの意見をさらにパワーアップさせられたね。」等、  
よかったことやできたことを明確にして伝えたり掲示したりして、**次回に生かせるように**する。

※教師が最初から示す必要はない。

### 「事前の活動」の充実

自治的能力を育むために

**適切な**議題選定・話し合いの経験を積み重ねる

計画委員が中心

<事前の活動>

- ①問題の発見
- ②議題の選定
- ③議題の決定
- ④計画の作成

②④は  
計画委員会